

古希の旅 その1ー全線完乗と青春18きっぷ特例の旅ー

歳を取らない（気持ちの上では）とか言っている田志井氏であるが、物理的にはどうしようもない… 70歳に近づいた春、会社勤めを辞めることになり、またまた悪い癖が蠢き出したようである。

しばしの充電をと、ビタミンJ（城）と鉄（道）分の補給を案画… 国内の鉄道（含む私鉄）の全線完乗と、とりあえず日本百名城跡の登城に向かって走り出した?!（いずれもそんなに残っていないようだが!）「終着駅は始発駅」と言うように、これからが別の意味でのスタートですとか言って、動き出したようです!。

西暦2016(平成28)年3月26日、北海道新幹線の新青森ー新函館北斗(函館本線渡島大野)駅間が開業が来月に迫りました。

このとき同時に、現JR北海道の江差線は、「道南いさりび鉄道」に変わります。

当然、JR時代に比べ運賃は高くなり、JRとは切り離されるので、田志井氏愛用の「青春18きっぷ」は使えなくなるのが原則（一部特例あり?）です。

このような例は、過去に…

1. 西暦2002(平成14)年12月1日、東北新幹線 盛岡ー八戸間開業
(盛岡ー目時：IGRいわて銀河鉄道、目時ー八戸：青い森鉄道)、
2. 西暦2004(平成16)年3月13日、九州新幹線 新八代ー鹿児島中央間開業
(八代ー川内：肥薩おれんじ鉄道)、
3. 西暦2010(平成22)年12月4日、東北新幹線 八戸ー新青森間開業
(八戸ー青森：青い森鉄道…特例あり)、
4. 西暦2015(平成27)年3月14日、北陸新幹線 長野ー金沢間開業
(長野ー妙高高原：しなの鉄道北しなの線、妙高高原ー直江津：えちごトキめき鉄道妙高はねうまライン、直江津ー市振：えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン、市振ー倶利伽羅：あいの風とやま鉄道、倶利伽羅ー金沢：IRいしかわ鉄道…特例あり)
があります。

また、「青春18きっぷ」は、JR各社の普通・快速列車の普通車自由席が原則ですが、普通列車が運行されていないJR線ー具体的には、昭和56(1981)年10月1日開通の石勝線新夕張ー新得間と平成14(2002)年12月1日からの海峡線蟹田(実際は中小国)ー木古内間は、乗車券のみで特急列車の普通車自由席に乗車できる特例が設けられ、青春18きっぷにも適用されています。

北海道新幹線開業後の青函トンネルは、新幹線と貨物列車のみの運行となり、どうなるか心配でしたが、2300円の「北海道新幹線オプション券」が設けられました。

青春18きっぷとの併用で、奥津軽いまべつー木古内間の新幹線自由席と道南いさりび鉄道の木古内ー五稜郭間に片道1回乗車できるというものです。

(企) ご案内 1 (220-88) 27-7-4 京都駅MR901 40466-11

○5回(人)まで利用できます。(複数人数でも利用できます。なお、複数人数の場合は同一行程となり、入出場の際には必ず青春18きっぷ本券が必要です)

(企) ご案内 2 (220-88) 27-7-4 京都駅MR901 40466-12

○奥羽本線新青森～青森間、津軽海峡線木古内～蟹田間、石勝線新得～新夕張間は、特例として当該区間内相互発着の場合に限り、このきっぷのみで特急・急行列車の普通車自由席に乗車できます。ただし、特例区間にまたがって乗車する場合は乗車全区間の乗車券及び料金券が必要です。また宮崎空港線の宮崎空港～宮崎間はこのきっぷのみで特急列車の普通車自由席に乗車できます

(企) ご案内 3 (220-88) 27-7-4 京都駅MR901 40466-13

○旅客鉄道会社線(JR線)以外の会社線を経由する列車をご利用の場合は別に会社線に有効な乗車券類が必要です。ただし、青い森鉄道線の青森～八戸間、あいの風とやま鉄道線の富山～高岡間、IRいしかわ鉄道線の津幡～金沢間は通過利用する場合に限り快速・普通列車の普通車自由席に乗車できます。当該区間で下車した場合(青森、野辺地、八戸、富山、高岡、津幡、金沢を除く)別に運賃が必要となります。

○きっぷを紛失された場合、あらためてきっぷをお買い求めいただきます。なくしたきっぷが発見された場合でも払戻しいたしません。

○自動改札機は利用できません。



(企) ご案内 4 (220-88) 27-7-4 京都駅MR901 40466-14

●快速「ムーンライトながら」は「東京～大垣」全区間、全車指定席です。

「青春18きっぷ」で「ムーンライトながら」等をご利用になる場合で乗車中に0時を過ぎてから「青春18きっぷ」を利用するときは、0時を過ぎて最初に発車する駅までの乗車券が必要です。なお、併用して利用した乗車券は、お乗りにならない区間の営業キロが100キロを超えない場合、列車の遅延等に関わらず払戻しいたしません。

現在の青春18きっぷの特例記載部(平成27年夏)



J R線内の特例(青春18きっぷで特急の自由席に乗車可---ご案内2)

奥羽本線新青森～青森間、海峡線木古内～蟹田間、
石勝線新得～新夕張間相互発着の場合

J R線以外の特例(青春18きっぷで乗車可---ご案内3)

青い森鉄道青森～八戸間、
あいの風とやま鉄道富山～高岡間、
I Rいしかわ鉄道津幡～金沢間の通過利用の場合

「特例」とか言う言葉を聞くと利用したくなる田志井氏のこと、ＪＲ線内の特例の利用を以前から考えていたようであるが、これが意外と難しい。

何れもＪＲ北海道管内や青森市で、田志井氏在住の京から遠いこと。相互発着の条件があり、在来線との連絡待ち等の問題である。幸い①新青森－青森間は以前に特例の恩恵を得ているので、今回は難関のＪＲ北海道管内２か所である。

時刻表を繰りながら、選んだのが以下になる。

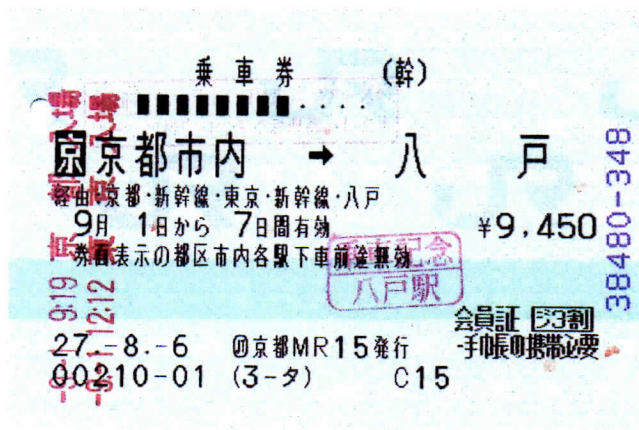
②青函トンネル

青森１８：１４発蟹田行き３４３Ｍに乗り１８：５６蟹田着、３３分の連絡で１９：２９発４０２５Ｍ特急スーパー白鳥２５号の自由席に乗る。青函トンネルを通り木古内２０：１９着、４分の連絡で２０：２３発函館行き１３７Ｄが待っていて、２１：２４分に函館に着く。合計待ち時間３７分は驚異的である。

③石勝線

石勝線も夕張まで往復することでかなり待ち時間を短縮できる。岩見沢始発の６：０４発糸井行１４６２Ｄに乗り追分へ、１７分の連絡の７：０８発夕張行２６２３Ｄに乘換える。新夕張で７分停車して、そのまま夕張まで。８：１７に着き、２６２６Ｄになって１３分後折り返す。２度目の新夕張に８：５４に着き、９：０１発の３１Ｄ特急スーパーとかち１号に乗る。新得へは１０：０６に着き、１０：５４発帯広行３４２７Ｄ快速狩勝に連絡する。合計待ち時間８５分

平成２７（２０１５）年９月初、
京都駅９：３３発ひかり５１４号で東京へ、
１０分連絡の１２：２０発はやぶさ１９号で
八戸へ１５：０４着。ここまではジパング
倶楽部で３割引、ここから青春１８きっぷ
で、青い森鉄道青森－八戸間の特例を使う。
八戸１５：１２発青い森鉄道３７３１Ｄ快速
しもきた号大湊行で野辺地まで。



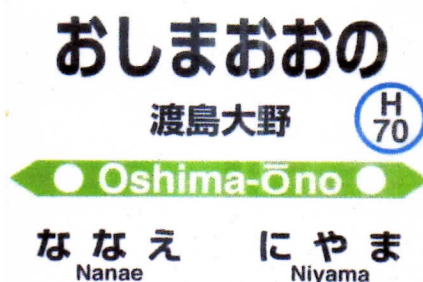
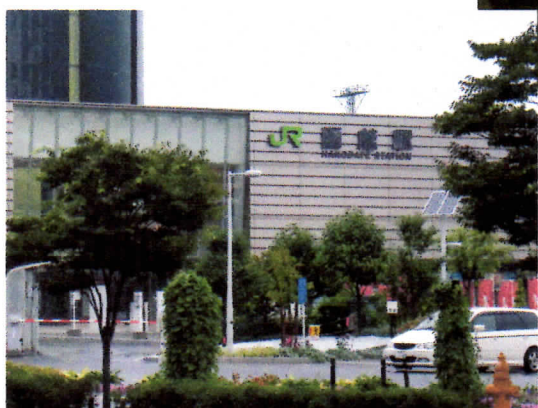
ここから列車は、ＪＲ東日本大湊線にはいるが、田志井氏は下車（野辺地駅の途中下車も

特例の一つ）し、街を
散策。六ヶ所村関連か？
思いの外賑わっている。
１７：１１発５８３Ｍ
で一路青森へ。

青森からは、前述の
行程で、実際は若干
遅れて、函館に着いた。



翌日も青春18きっぷの旅、
函館→渡島大野(北海道新幹線
新函館北斗)→姫川→長万部→
倶知安→小樽→札幌→岩見沢
と忠実に函館本線を辿っている。



工事中の新幹線
新函館北斗
(渡島大野) 駅

なぜ岩見沢か?
翌日の石勝線
の連絡(前述)
のため!
苫小牧からも
追分駅で連絡



するが、函館本線に拘ったことと、前夜の行程が苫小牧へ行くより岩見沢の方が便利であつたことによる(乗車距離326.9km)。

翌日も青春18きっぷの旅、前述の行程通り、特急の乗車特例を利用し、帯広駅に定刻11:33着。1時間11分の連絡待ちの間に名物の十勝黒豚丼の昼食。

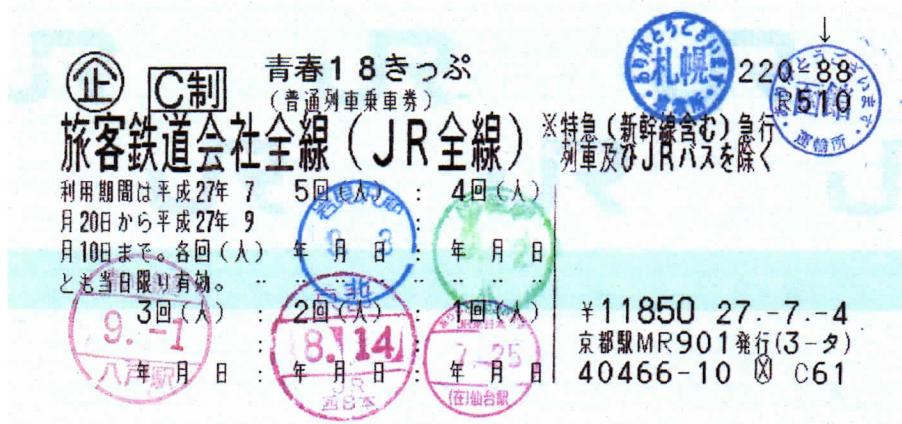
特例乗車記念にと、
検札時の車掌さんに
乗車証明をお願い
したが、ダメで
青春18きっぷは
通常見せるだけで
okだが、検札印
は押してくれた。

(右きっぷ)

帯広12:44発
釧路行き2527D

スーパー白鳥25号の車掌の押印 |

スーパーとかち1号の車掌の押印 ↓



に乗り、釧路駅3分
連絡の16:19発
根室行5637Dで
根室まで。乗車距離
497.7km。

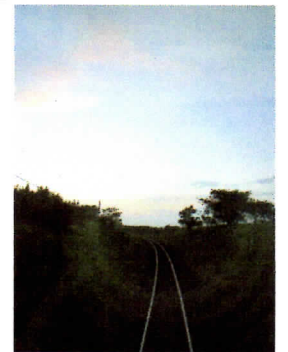


JR最東端駅である東根室駅を経て、18:49根室着、あと宿に落ち着き、
海鮮料理&お酒で「青春18きっぷ」JR線特例乗車完乗祝い」となった？

翌日からは、ジパング倶楽部の3割引き(一部、新幹線連絡の特急券半額も
利用)で一路帰洛、一週間の旅でした。

前頁の「青春18きっぷ」をご覧になって、少し見にくいですが、
5回使用の前2回は7月25日仙台駅と8月14日京都駅です。
(ちなみに3回目は八戸駅、次は函館、岩見沢と続きます)

7月25日仙台駅出発は、国内の鉄道(含む私鉄)の全線完乗にからみます。



平成27年10月までの1年間に次の4線が新しくなって、未乗区間ができていた。

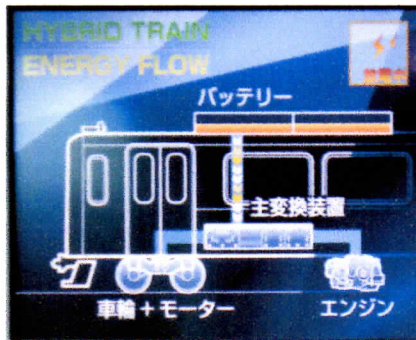
- ① 平成27(2015)年3月21日石巻線浦宿～女川間の復旧に伴う線路付け替え
(200m短縮)
- ② 平成27(2015)年5月30日仙石線の復旧に伴う陸前大塚～陸前小野間の線路
付け替え(1200m短縮)
- ③ 平成27(2015)年5月30日仙石東北ラインの運転開始に伴う、東北本線松島～
仙石線高城町間の300mが開通
と言っても、連絡線は松島駅より仙台寄り、石巻へは、塩釜駅を出て松島駅には
寄らず仙石線に入る
- ④ 平成26(2014)年10月1日吾妻線川原湯温泉駅移転による岩島～長野原草津口
間線路付け替え(300m短縮)

仙台駅 8:18 発仙石東北ライン快速 525D に乗車、ハイブリッドディーゼル車だ。
仙石線は直流電化区間、東北本線は交流電化区間と電化方式が異なることから、非電化で
整備され、ハイブリッド気動車 HB-E210 系での運行となっている。

東北本線釜石駅を出て、松島駅手前 1 キロ強の辺りから連絡線を経て、仙石線に入る。
陸前大塚～陸前小野間の新線を走り、9:23 石巻着。10 分連絡の石巻線 1629D で
女川～浦宿駅から新線に入り 9:59 女川へ。



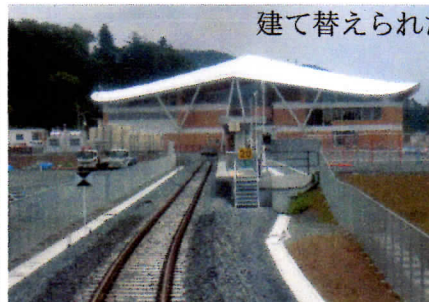
連絡線（右が仙石線）
仙石線旧線跡



ハイブリッド気動車 HB-E211 系



建て替えられた女川駅



効率よく(?) 3つの新線に乗ることができた。この後、女川⇒石巻(石巻線)⇒仙台(仙石線)
⇒福島⇒郡山⇒黒磯⇒大宮(東北本線)⇒高崎(高崎線)まで 525.5 km の旅となった。

翌日は、吾妻線の新線を乗り、後長野原草津口から草津温泉まで足を伸ばしている。
帰りはわざわざ上野で降り 3月14日開業の上野東京ラインで東京経由帰洛（ジパング
倶楽部の3割引き利用）。

これで、全線完乗復帰！



平成27(2015)年3月14日北陸新幹線長野—金沢間開業及びこれに伴う信越本線、北陸本線の第3セクター化は5月に以下の行程で乗車済。

京都⇒金沢(サンダーバード)⇒長野(富山他途中下車)、帰りは、長野⇒妙高高原(しなの鉄道北しなの線)、妙高高原⇒直江津(えちごトキめき鉄道妙高はねうまライン)、直江津⇒市振(えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン)---運行は次の泊駅が境界駅で乗り換えになる。市振(泊)⇒倶利伽羅(あいの風とやま鉄道)、倶利伽羅⇒金沢(IRいしかわ鉄道)⇒京都(サンダーバード)

あいの風とやま鉄道とIRいしかわ鉄道は行政区画の関係で別会社になっているが、運行形態は、泊—富山間と富山—金沢間といった状況になっている。

以上のように、平成27年秋、再度全線完乗に至ったのは良かったが、...

冒頭のように、平成28年春北海道新幹線部分開業、それに伴う江差線の第3セクター化による未乗区間が出来ることになる。これを待つこともなく、

平成27年12月6日仙台市の地下鉄東西線が開通、
同20日には、札幌市市電のループ化で、
未乗区間が発生している。

平成28年春以降のこと！ またまた何か悪い(?)ことを考えているような田志井氏である。

私鉄を含む完乗記などなど... 近く出てくるかもしれない？ (平成28年2月)

